

授業科目 臨床実習Ⅲ

【担当教員名】 渋谷直樹および学科全教員	対象学年	3、4	対象学科	言語
	開講時期	全期	必修・選択	必修
	単位数	12	時間数	540

【＜概要＞又は＜一般目標：GIO＞】

- ・ 学外総合実習である
- ・ 学内セミナーを実習の前後に行う
事前セミナーでは、障害領域での評価、指導法、効果評価法を学習、演習する
- ・ 事後セミナーでは、症例報告書の書き方および症例の口頭発表を行う

【＜学習目標＞又は＜行動目標：SBO＞】

- ・ 言語聴覚障害の治療（指導）に必要な基礎知識や医学的知識と臨床技術との統合をはかり、言語聴覚士としての技量を養成する
- ・ 将来言語聴覚士を志すものとして、指導の現場で、評価、指導計画、指導の一部を実際に体験する
- ・ 実習で体験した症例を報告書にまとめ、かつ口頭発表する

回数	授業計画又は学習の主題		SBO	
			番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	1) オリエンテーション 事前学習・演習	評価・診断、治療・指導計画案 治療・指導方法とその効果評価方法の文書の書き方		学内・セミナー
	2 学外実習	病院および施設実習 評価、診断、治療、計画、実際の治療の一部を体験する		学外・配属実習
	3) まとめ 事後学習・発表	症例報告書の書き方 症例報告の口頭発表		学内・セミナー

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
参考書	言語聴覚療法 臨床マニュアル	協同医書出版社	9500円	
	ことばの障害の評価と指導	大石敬子編 大修館書店	2001年	2400円

【評価方法】 出席、実習先の評価、症例報告 および症例発表の総合評価	【履修上の留意点】 実習日程、病院（施設）は、実習先との相談の上決定する
--	---